

学校だより

茅野市立
東部中学校



信頼を築く 学校

令和4年度 No.7 文責 濱
発行日 7月15日(金)

本格的に夏到来！

十二分に熱中症対策を行いましょう

記録的な早さで梅雨が明け、一気に「猛暑」の夏がやってきました。テレビ等の報道でも盛んに「災害級の暑さ」ということが言われています。

本校では、

- ・ 登下校時も含め、半袖、ハーフパンツ等、熱のこもらない服装の推奨
- ・ エアコン、扇風機の積極的利用
- ・ 必要に応じ、授業中でも随時の水分補給
- ・ WBGT の値を確認しての教育活動の検討
等、生徒が安全に夏の学校生活を送ることができるように進めております。

コロナ対策の一環であるマスクの着用については、繰り返し、「登下校時」「体育実技中」「運動部活中」には外すことを強く勧めています。

今後も、新型コロナウイルス感染症の状況、気象状況を注視ながら、生徒が安全に学校生活を送ることができるよう必要な対応を進めて参ります。ご家庭におきましても、服装やマスクについて話題にさせていただき、暑さ対策についてご確認をいただけますよう、お願いいたします。

でいらぼっちの方による読み聞かせ



コロナ対策のため、今年度の第一回を中止にしました「でいらぼっち」の方による読み聞かせを6月21日、7月12日に行っていただくことができました。



感染警戒レベルが落ち着いたことを受けての実施でしたが、これまで行いたくてもできなかった読み聞かせができ、当日は、各教室に普段の自分で行う読書とはまた違った魅力的な本の世界が繰り広げられました。物語や絵本、文化・産業に関わるもの等々、でいらぼっちの方々がそれぞれ思いをもって選んでいただいた、実に幅広い本の世界を生徒はしっかりと受け止め、味わっていました。

今後もコロナの感染警戒レベルを考慮しつつ、計画に従い、月1回、読み聞かせをしていただきます。生徒、職員にとって楽しみな時です。

生徒会



生徒会で以前より行っている「桜募金」を今年度も行いました。これは、東日本大震災で甚大な被害があった石巻市の大川小学校周辺の桜の維持に充てるお金を集めるためのものです。放送で全校に呼びかけ、各クラスにポスターを掲示し、毎朝7:45から担当の生徒が昇降口で呼びかけをしてくれました。集まったお金はこれから送ることとなりますが、日本で起こった未曾有の大

災害を少しでも自分に引きつけて考える大切な機会となりました。

また、6月30日には、生徒集会が行われ、桜募金や人権週間の振り返りがおこなわれました。そして、いよいよ「八ヶ嶺祭」について具体的に始まりました。今回はサブテーマが発表され、ステージバック決定についても扱われました。八ヶ嶺祭までのカウントダウンも始まりました。生徒会最大行事と言われる八ヶ嶺祭がどんどん具体的な姿になっていきます。どんな文化祭になるか、今から大変楽しみです。

生徒集会は、今回も全校で集まることはせずに、生徒会役員のみなさんと各教室をつないでのリモート開催でしたが、大変手際よくスムーズに開催することができていました。様々な工夫をしながら、必要なことを適切に進めていく姿は、大変素晴らしいものでした。この調子で進んでいきましょう



七夕飾り

東部中学校コミュニティスクールコーディネーターの永嶋さんにアドバイスをいただき、家庭科部のみなさんが七夕飾りを制作しました。子ども達を笑顔にしたいとの思いで作成を進め、出来上がった「七夕飾り」は、地域の方のお力をお借りし、泉野保育園、玉川保育園に届けました。



玉川どんぐり保育園には生徒が届けに行きました。喜んでもらえるように、「七夕三択クイズ」なども用意して出かけましたが、保育園の子ども達が予想以上に大盛り上がりで、喜んでくれました。生徒達は「つくってよかったあ」と大きな充実感を感じることができました。

本校の昇降口にも一つ飾りました。この数日で様々な願い事を書かれた短冊が幾つも飾られました。夏の風物詩である七夕飾り、一気に夏の雰囲気が出てきました。

県大会壮行会

7月1日(金)には、これから県大会を迎える部活動の壮行会が行われました。陸上競技、男女ハンドボール、卓球、水泳、そして、ここから北信大会、県大会へと挑む新体操、それぞれの部に向けてエールを送りました。



前回の南信大会壮行会は、コロナ感染症対策の一環として、校庭で行いましたが、今回は、気温が大分高くなってしまっていたために、体育館で、全校で声を出す応援はしないこととして行いました。

各部活動の代表から決意の言葉が述べられ、そこには「感謝」「悔いを残さない」「お陰様です」「ありがとうございます」という感謝の言葉があふれていました。その言葉を聞いていて、益々、応援したい気持ちが高まりました。より大きな舞台で闘う東中生、思いっきりやっつけて下さい!

いってきました 修学旅行

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ここ2年間、「二泊三日で奈良・京都へ」という例年行っていた形での実施ができずにいた修学旅行でしたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視・検討し、様々な感染症対策、安心安全な旅行になるような対応、配慮を行い、7月5～7日の日程で、奈良・京都へと行っ





て来ました。「京都に行くなら(奈良)、今でしょ！ ～古都に学ぶことがある～」という修学旅行の目標を大切に丁寧準備を進めてきた三学年の生徒は、2泊3日の修学旅行を満喫してきました。旅行中は、メリハリをしっかりとつけ、修学旅行も学校生活の一環であるという大前提を踏まえ、修学旅行を充実させよう、よい思い出をつくることはもちろん、自分たちのがんばり、最高学年としての力も伸ばそう、という思いが学年に満ちていました。素晴らしい主体的な姿が、随所に見られました。



台風も心配されましたが、旅行中は、奇跡的に、天候にも恵まれ雨に当たることもほとんどなく(台風一過の暑さには苦労しましたが)、安心、安全な修学旅行となりました。

一学年校外学習

雨も心配されましたが、7月12日に、1学年校外学習を無事に行うことができました。今回は、総合的な学習に関わり様々なねらいがありましたが、中心的な活動は、飯ごう炊さんによるお昼のカレーづくりと統率レク係が中心となった学年レクでした。



生徒は、多くの生徒が初体験となる、薪を使っての飯ごうでの炊飯、大鍋でのカレー作りに取り組みました。様々な苦労もありましたが、素晴らしい協力体制で見事にカレーをつくりあげました。みんなで協力してつくりあげたカレーの味は格別だったようです。

また、統率レク係が中心に進めた学年レクでは、係の「みんなを楽しませたい！」という思い、そして、それぞれに自然と応えるように思い切り楽しむ1年生の姿が素敵でした



様々な活動場面で、班・クラスの仲間で声を掛け合い協力して取り組んでいる姿が印象的で、今年度学校が大切にしている主体的な姿で、見事に校外学習が成功させ、とても楽しい思い出をつくることができましたね。



学校評議員会・CS 運営委員会開催

6月28日に今年度の一回目の「学校評議員会・CS 運営委員会」を開催しました。

学校評議員、東部中学校コミュニティスクール運営委員の皆様にお集まりいただき、今年度の学校の方針、生徒の様子、コミュニティスクールの方向性について共有し、ご意見をいただきました。また、本校職員が行っております、「いじめ」「非違行為防止」についての研修等についても紹介をさせていただきました。



コロナによる感染症に注意しつつも、これまでよりも活動の中身や場を広げていかれるという期待感が広がる会となりました。ご多用の中、誠にありがとうございました。学校にとって大切な時間となりました。

いじめ防止ガイドライン 改定

昨年度末に HP にも公開をしました「東部中いじめ防止ガイドライン」については、本校の全教育活動に関わる土台として、今年度の当初に、職員全員で読み合わせをおこない、「いじめ防止ガイドライン」の内容を確認し、今年度の教育活動を始めております。

その「いじめ防止ガイドライン」つきまして、この度改定を行いました。この「改定」は、先月行われました、茅野市に県教育委員会指導主事を招いての研修会を受けてのものです。研修では、県教委の林邦彦主任指導主事より、「長野県いじめ対応マニュアル」を基に「いじめの重篤化を防ぐために」という視点でのお話を伺いました。その研修から、本校の「いじめ防止ガイドライン」をより実践的で機能的なものにするために、いくつかの部分を変更しました。改定の主なポイントは「相談窓口の複数開設・周知」「統一された聞き取りシートの利用」「生徒の自己有用感の涵養」となります。「自己有用感の涵養」という部分については、現在本校でも「いしずえタイム」「道徳」等も含め、意識をしている部分ですが、「未然防止」という点において今後、より大切な視点としていきます。

改定した部分も含めて、先日職員で再度「東部中いじめ防止ガイドライン」を職員研修として扱いました。今後より生徒が「安心・安全」の学校生活を送れるように努めて参ります。

非違行為防止研修

上記の研修と合わせて、「職員非違行為防止マニュアル」についても職員研修を行いました。「非違行為」は多岐にわたる側面があり、まとめて一気に研修を行うとか、一度行ったからこれで大丈夫という性質のものではありません。これまでも職員会等の際に、「交通安全・法規遵守」「スクールセクハラ」「体罰」について話題としてきましたが、改めて「マニュアル」全体を確認するとともに、「体罰」に関わるセルフチェックシートを用いて、今の自分のあり方について確認を行いました。

非違行為は、学校現場で最も大切にしなければならない「信用・信頼」を大きく傷つけることとなります。年度当初より、「ならぬことはならぬ、東部中学校から非違行為は出さない」の強い決意の下、全職員で教育活動を行っております。今後も折に触れて、定期的に研修を継続し、自身の感覚や決意をよりよい形に更新していかれるように進めて参ります。

夏期の部活動について

現在、学校では、熱中症対策を優先して、登下校時や運動をする際は、マスクを外すよう指導しています。熱中症は、気温・湿度などの環境条件を考慮し、こまめに水分や塩分を補給し休憩をとることによって防止することができます。熱中症対策へのご協力をよろしくお願いいたします。

特に、夏場の部活動の際に、熱中症のリスクが高まります。夏季休業期間中も規則正しい生活をして体調を整え、体調がすぐれない場合は、無理して活動に参加することがないようにしてください。

運動部では南信大会が終わり、多くの競技で、明日からの三連休で県大会が行われます。一方で、3年生が引退して、1・2年生に活動が引き継がれた部活動も多くありますので、部活動の運営について、あらためて確認をさせていただきます。

部活動は、長野県教育委員会が平成 26 年 2 月に策定し、平成 31 年 2 月に改定した「長野県中学生期のスポーツ活動指針〔改訂版〕」に沿って運営しています。これにより、学校の部活動と社会体育の活動はそれぞれ別の活動として運営されています。このことにつきまして、ご不明なことがございましたら、学校までお問い合わせください。

生徒の健康に関すること、スクールソーシャルワーカー (SSW)、スクールカウンセラー (SC) への相談等ご希望がありましたら、お気軽に学校までご連絡をお願いします。また、「育ちあいちの」へ相談は随時行えます。ぜひ、ご利用ください。

茅野市立東部中学校
濱 喜一郎(校長)
〒391-0011 茅野市玉川 10030
電話 79-5050 Fax 79-5242